

しぶろく大井宿は「七日福市」を応援します

【日時】 令和5年1月7日（土）午前9時～午後2時

350年余りの歴史を誇る中山道大井宿の伝統文化である「七日福市」は、令和2年2月から始まった新型コロナウイルス感染症まん延のため、令和3年、4年は神事のみで開催となっていました。令和5年も神事のみで開催と市神神社奉賛会から聞き、しぶろく大井宿が応援することとなりました。

大井町のまちづくり団体であるしぶろく大井宿は、中山道明治天皇大井行在所を拠点として、大井宿の歴史文化の保存継承と賑わいの創出に取り組んでいます。

大井宿沿道では、大井町をはじめ、他地域の事業者、道の駅など22団体の協力を得て販売ブースを4カ所開設します。

また、明治天皇大井行在所では、地元の伝統芸能「大井文楽」の人形操作体験と「大井恵那峡とんとん節」披露、市民三学大井委員会による紙芝居公演（「市神神社のたばこ市」他）、版画のあるまち企画懇談会による版画体験を行います。皆様のご来場をお待ちしています。

■七日福市の起源■

市神神社は、始めは市場田にあり「八大竜王」を祀ったといわれています。

当時、市場田では「たばこ」がたくさん栽培されていました。このたばこは大変質の良いもので、八大竜王の名をとり「竜王たばこ」と呼ばれ、領主の殿様にも納めていました。納めた残りを毎年1月7日に市神神社の境内で市を開き売っていました。

この市を「たばこ市」と呼び、市の神さまだから当時は「市神社」と言っていたようですが、いつの間にか「市神神社」と呼ばれるようになったそうです。

この「たばこ市」が「七日福市」となり、お礼さまを朝早く迎えると、たくさんの福がさずかるといわれるようになりました。

お問い合わせ

しぶろく大井宿事務局（明治天皇大井行在所事務所）

電話 0573-25-7101